

<本資料をご覧の皆さまへのお願い>

本PDFは、2024年6月9日に株式会社COMPASSが開催したオンラインイベント「学習者を中心としたデータ利活用のこれから」においてにおいてゲストの渋谷区教育委員会様、NTTコミュニケーションズ様、およびCOMPASSより発表した資料です。

※記載の情報はイベント開催時点のものであり、変更となることがございます。

※奈良市教育委員会様の資料の配布はございません。下記アーカイブ動画にてご覧ください。

イベント参加者の皆様との情報共有のために展開させていただいているものですので、資料・資料内の情報の無断転載はご遠慮ください。

また、本セッションの様子はキュビナ公式Youtubeチャンネルに公開しています。ぜひご覧ください。

<https://youtu.be/gvHkU9gQYI8>

学習者を中心とした
データ利活用のこれから

SESSION3 パネル・ディスカッション

ダッシュボードによる 教育データの集約・可視化の先に描くもの



渋谷区教育委員会事務局
教育政策課
教育ICT政策係長

竹澤 悠人 様



渋谷区教育委員会事務局
教育指導課
指導主事

清水 雄一 様



奈良市教育委員会事務局
教育DX推進課
教育ICT推進係長

米田 力 様



NTTコミュニケーションズ株式会社
スマートエデュケーション推進室
担当部長

稲田 友 様



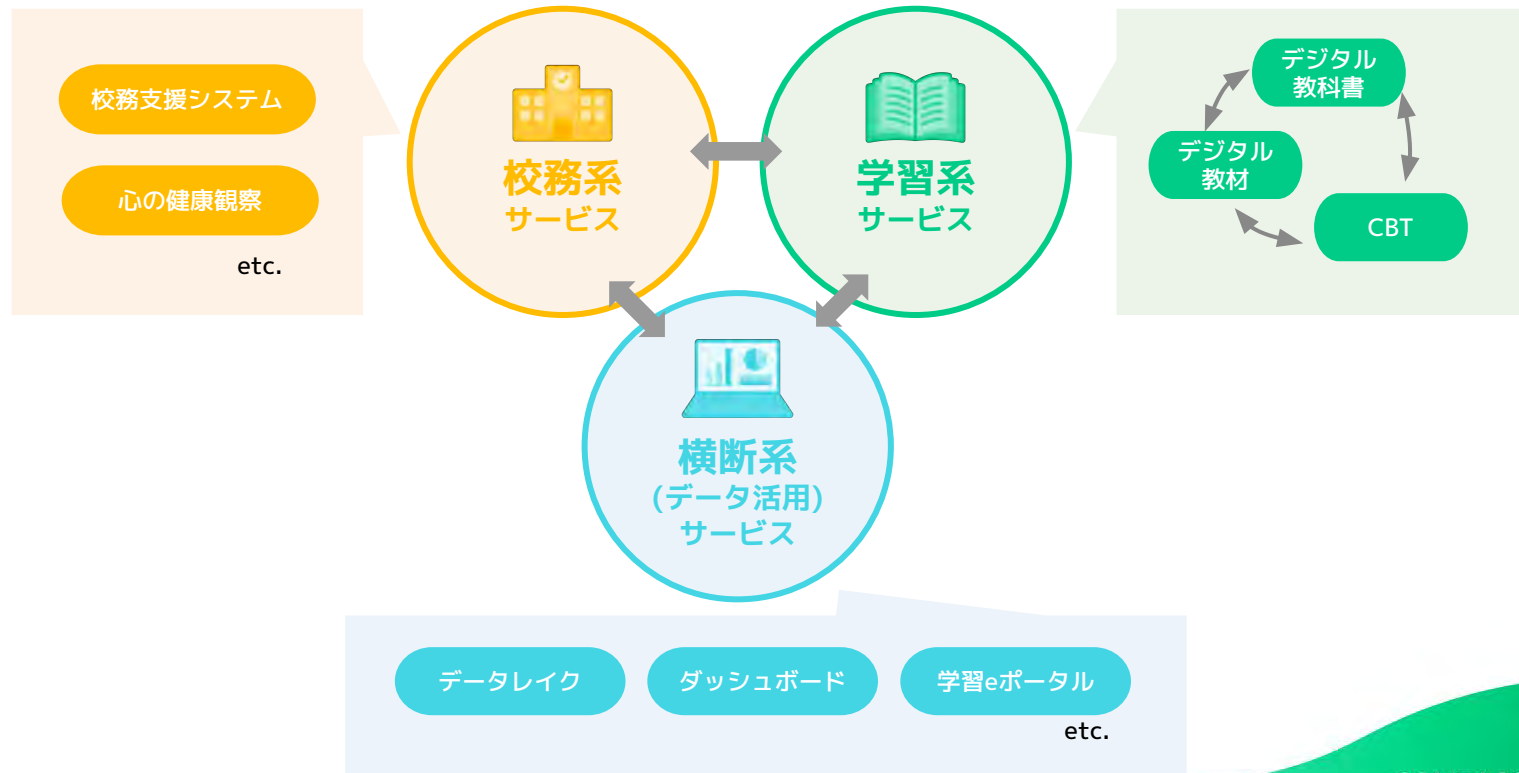
株式会社COMPASS
取締役
最高教育体験責任者

木川 俊哉

COMPASSの学習者を中心としたデータ利活用の 連携取り組みについて

株式会社COMPASS

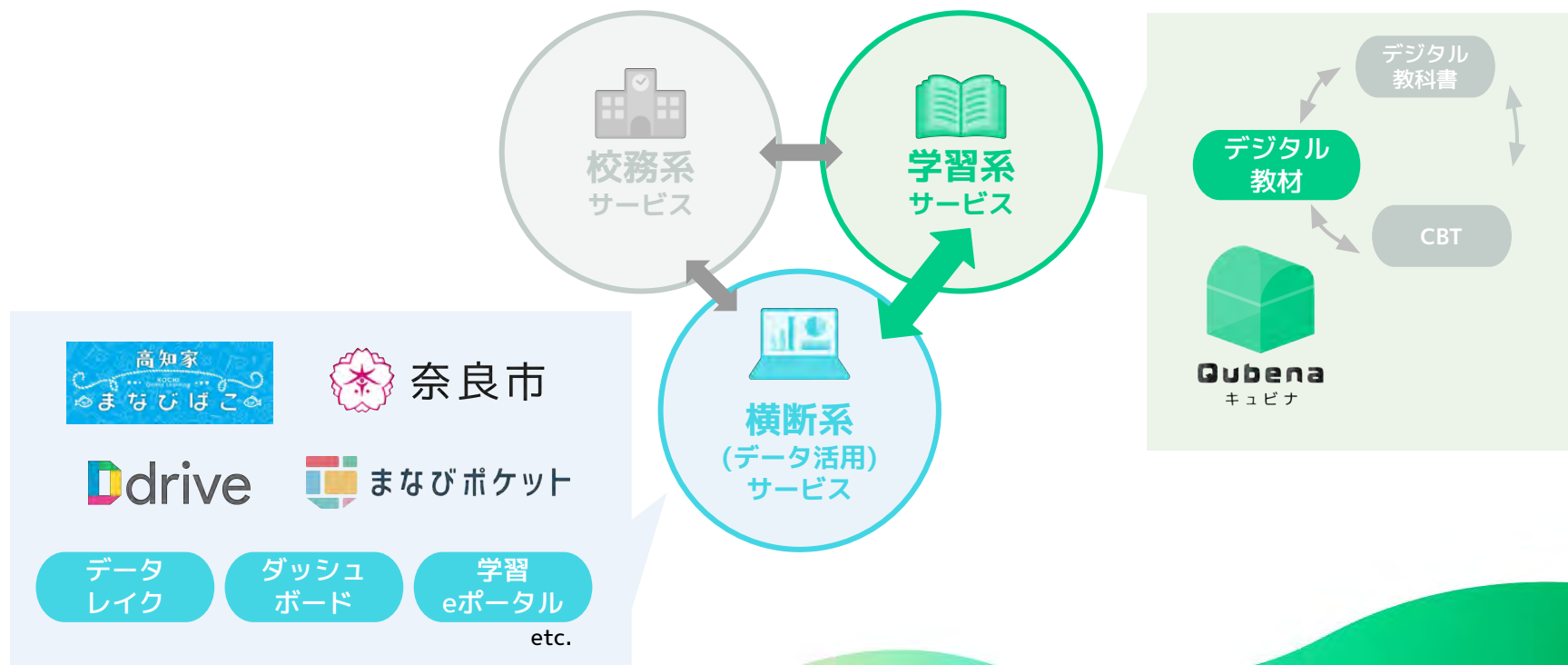
学習者を中心としたデータ利活用の環境の実現



学習者を中心としたデータ利活用の環境の実現

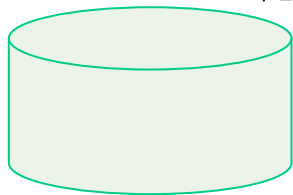


キュビナのデータ利活用の取り組み ④ ダッシュボードとの連携



キュビナが連携する学習データ（例）

学習eポータル + AI型教材



アカウント情
報

問題
情報

解答内容、習熟度スコア、
解説を読んでいる時間 etc.

学習
ログ

メタデータ

ローデータレベル

日次

データを転送

※個人情報保護法その他の法令を遵守し、
自治体から指示を受けた限りで
データ連携を実施



横断系
データ活用
サービス

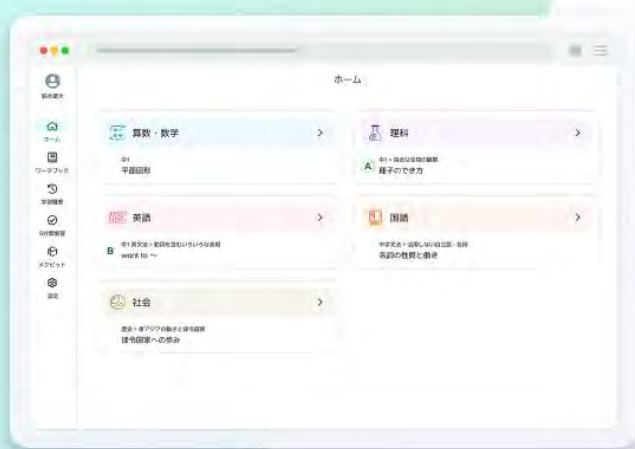


※ユースケース創出のため
現時点では連携項目の限定をしない方針

学習者を中心とした
データ利活用のこれから

日々の学習で蓄積される膨大な学習データ

学習eポータル + AI型教材
Qubena



全国170自治体、小中学校約2,300校で
100万人が利用

累計解答数が
25億件を突破

ダッシュボードによる教育データの集約・可視化の 先進的な取り組み事例

渋谷区教育委員会様
奈良市教育委員会様
NTTコミュニケーションズ様

ちがいを
ちからに
変える街。

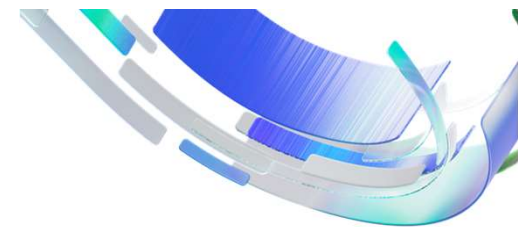


渋谷区
Shibuya City

子供たちのWell-beingを目指した 渋谷区の教育データ活用

- ☒ I 教員向けダッシュボード
- ☒ II 児童生徒ダッシュボード・振り返りアプリ（HACHIアプリ）

令和6年6月9日



渋谷区の教育ICTについて

国の整備計画

教育のICT化に向けた環境整備5か年計画
3クラスに1クラス分程度 学習者端末整備

GIGAスクール構想による
1人1台児童生徒端末の整備

基盤1.0(2017.9~2020.8)

基盤2.0 (2020.9~2025.8)

基盤3.0

2017

2018

2019

2020

2021

2022

2023

2024

2025

1人1台端末の配付

「いつでもどこでも学べる」ICT環境

- 2017年9月に教員・児童生徒用タブレット端末を1人1台配付
- LTE回線対応で「いつでもどこでも学べる環境」を整備

教育ICT環境の刷新

教育ダッシュボードの整備

- 2020年9月に端末・教育ICT環境を刷新
校内LANやM365の活用環境を整備
- 2021年3月からタブレット利用状況の
PowerBIレポートを学校公開
- データ利活用基盤を構築し2022年7月
に教員向けダッシュボードを試行実施

フルクラウド化の検討

教育ダッシュボードの更なる発展

- 2025年9月を予定している端末・ICT環境の刷新に向けたフルクラウド化の検討
- 生成AIの学校導入
- 児童生徒向けダッシュボードの開発、データ利活用基盤の更なる発展

渋谷区の整備状況

子供一人一人の幸せ(Well-Being)の実現

子供たちが自ら主体的に目標を設定し、振り返りながら、責任ある行動がとれる力を身に付ける

教員の子供理解に基づいた指導・支援と子供たちの学校満足度(QoL)の向上

教員向けダッシュボード
(2022.10～運用開始)



- ・ 教員の長年の経験と勘による指導方法を補完するため、生活の記録等を活用し、**子供の興味・関心や悩みを丁寧に見取り**、チーム学校のもと、**個々の状況を踏まえた指導・支援**につなげる

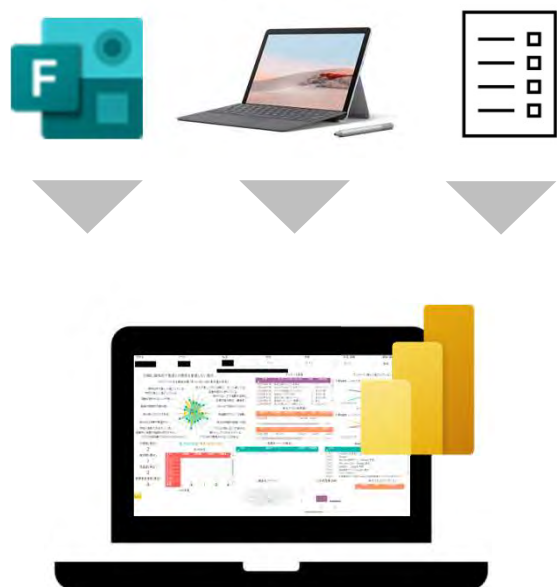
児童生徒向けダッシュボード
(2023.10～運用開始)



- ・ 個々の子供の良さを認め、認め合うことによる**自己存在感の感受と共感的な人間関係**を育む
- ・ 子供が自らの学習の状況を把握し、**主体的に学習を最適化**することができる力を育む

教員向け・児童生徒向けダッシュボードの概要

教員向けダッシュボード



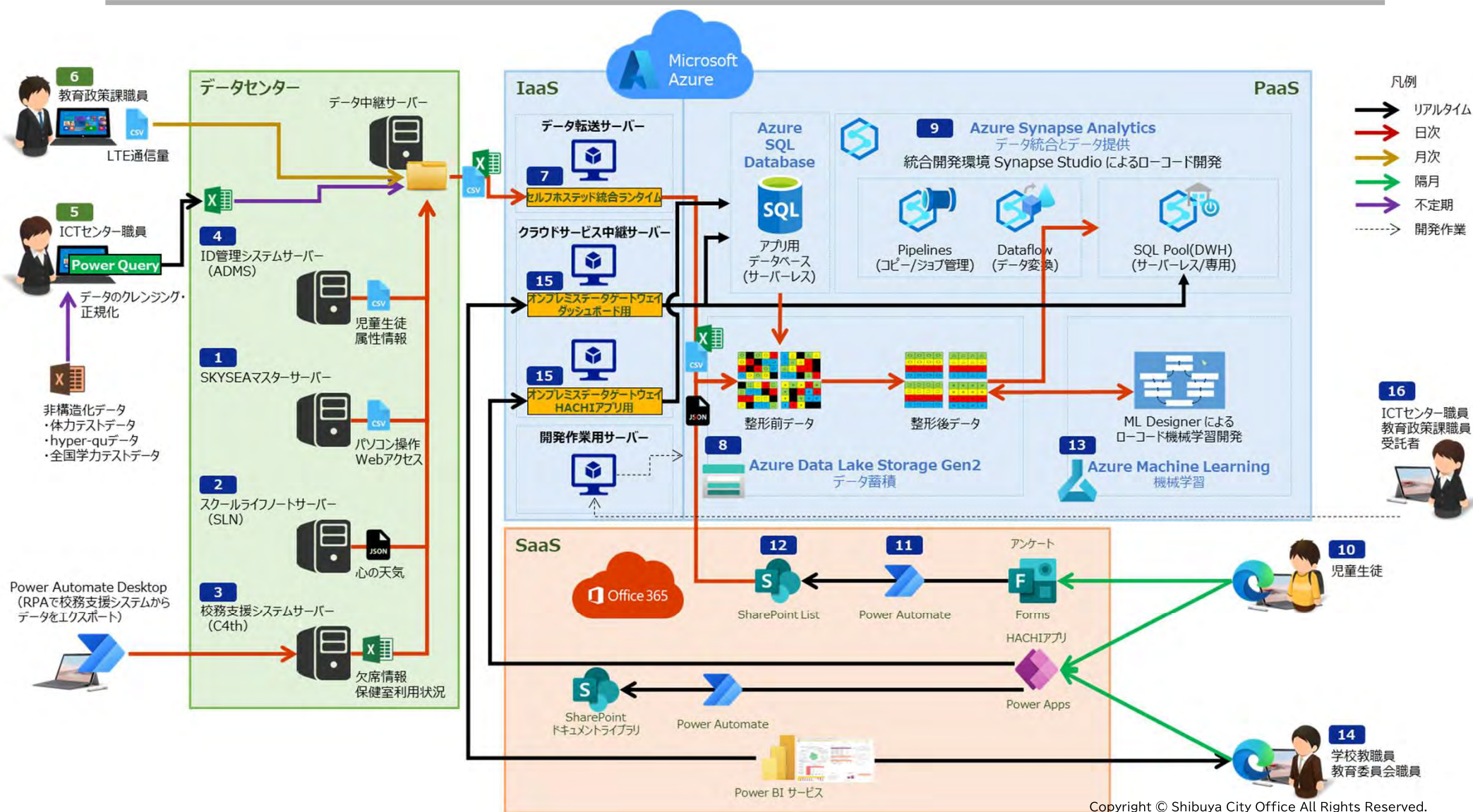
出欠席、タブレット利用状況、体力テスト、
全国学力学習状況調査結果などのデータを
PowerBIで可視化

児童生徒向けダッシュボード



子供自身がPowerAppsで入力した学習・
生活の振り返りをPowerBIで可視化
タブレット利用状況のデータ等も併せてダッ
シュボードに表示

Microsoft Azureを基軸とした教育データ利活用基盤



教員の経験知とデータ利活用による高度な支援・指導

子供たちとの「1 on 1」の時間の創出 & 子供たちと向き合う時間をより濃密に

学級・教科・生活指導に必要な要素

教育データの利活用



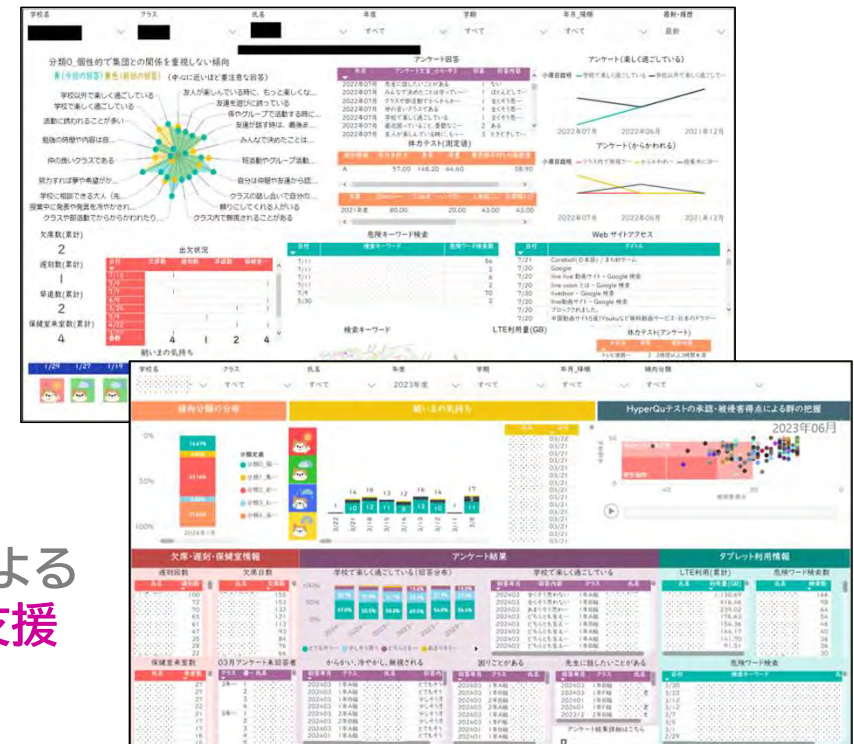
🎯 データを利活用して**感覚による気づきを可視化**

🎯 経験の差による**見落としを減少**



🎯 複合的な視点による**早期対応・早期支援**

🎯 **先入観の修正**

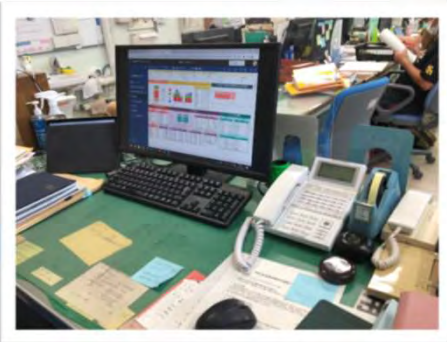


活用イメージ
動画

教員向けダッシュボードの活用事例

- ・個々の子どもの課題を担当が抱え込むのではなく、管理職とも共有し、チームとして迅速に対応
- ・特別支援校内委員会、ケース会議、いじめ対策委員会等で子どものSOS発見や情報共有に活用

ある日の生活指導夕会



管理職がダッシュボードを閲覧

特別支援 校内委員会



学校生活アンケート等で
主訴の改善状況を把握



いじめ対策委員会、登校支援委員会



他の学年や専科も参照



担任、学年で閲覧

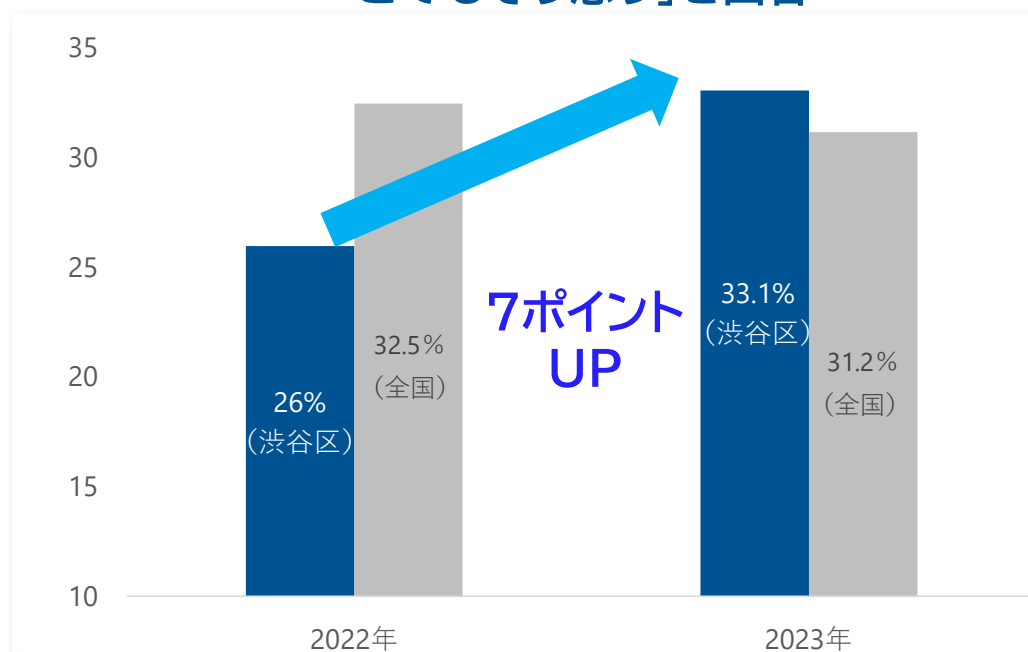
欠席状況の確認
見落としそうな子を発見

全国学力学習状況調査 渋谷区の変化

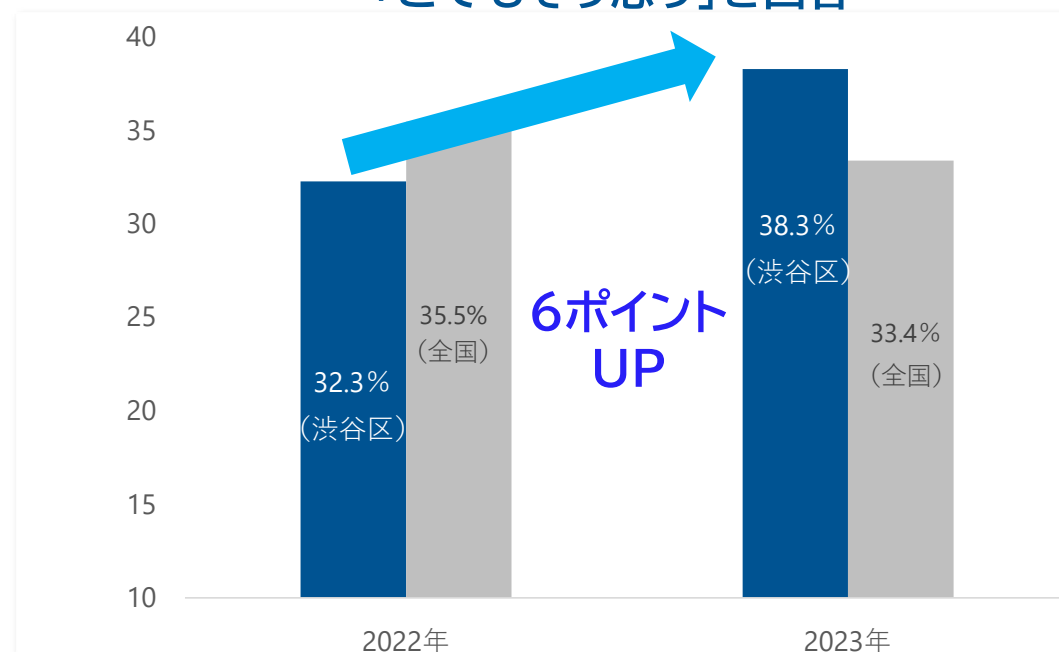
2022年→2023年の変化

「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談ができますか」

小学校6年(渋谷区)
「とてもそう思う」を回答



中学校3年(渋谷区)
「とてもそう思う」を回答



「1on1の時間の創出」 子供たち一人一人にポジティブな価値付け

児童生徒向けダッシュボード × HACHI (振り返り)アプリ

振り返り × 認め合い × ICT

“Bad Next” から “Good Next” への転換
(反省から次へ) (頑張りから次へ)

アプリ・ダッシュボードによる
「振り返り活動・日記」「認め合い活動」「教員の見取り・支援」の
仕組み化・パッケージ化

児童生徒向けダッシュボード・アプリの概要

週・単元

振り返り

いいところ

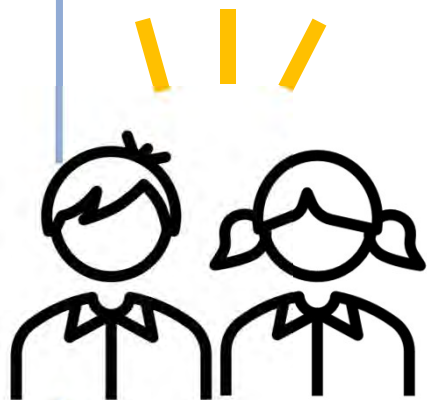
学習

生活

友達の良かった点や授業の振り返り、学校生活の日記等をアプリに入力

コメント

教員からのコメントやポジティブな返信



(教員向け)





操作画面 紹介動画

授業の最後 子供たちは
この時間の活動を振り返ります

画面イメージ 動画

「振り返り」×「認め合い」×「ICT」の目指す姿

“Bad Next”から“Good Next”への転換

(反省から次へ)

(頑張りから次へ)





子供一人一人の幸せ（Well-Being）の実現のために

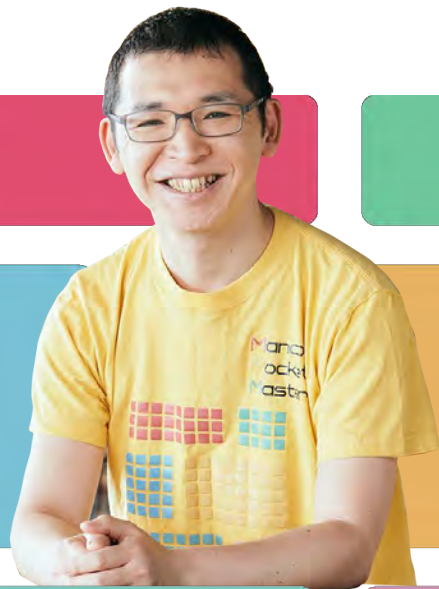


画像提供：渋谷スクランブルスクエア

The background is a light yellow color with several isometric illustrations of blue buildings with white windows and doors. There are also green trees and white clouds. In the foreground, there are several small human figures: a man in a green shirt holding a phone, a man in a blue suit holding a briefcase, two women in business attire talking, a woman in an orange dress, and a man and a woman sitting on a bench. A white dove is also depicted.

学習eポータル まなびポケットによる データ活用

NTTコミュニケーションズ株式会社
稲田 友



稲田 友

NTTコミュニケーションズ
株式会社

スマートエデュケーション推進室担当部長
まなびポケットプロダクトオーナー

NTTコミュニケーションズにて、公教育のデジタル化に約20年にわたり携わり『まなびポケット』プロダクトオーナーを務めています。

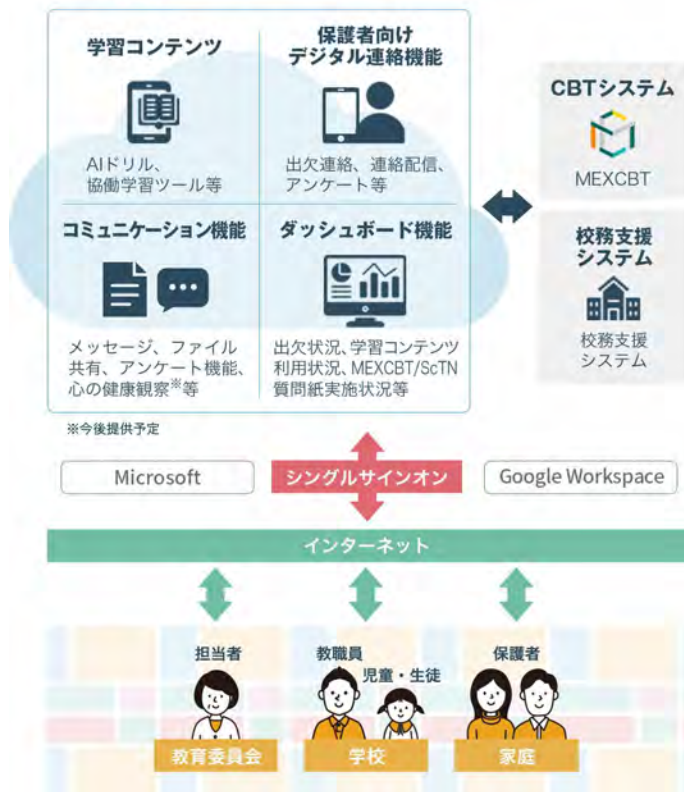
2023年度は、文部科学省「教育データ利活用に係る留意事項に関する検討委員会」委員、総務省「教育分野におけるPDSの技術的要件等に関する調査研究 有識者検討会」委員などを務めるとともに、2021年9月から兼業でデジタル庁にて教育・学習分野のプロジェクトマネージャーも務めています。

また、妻が現役教員、母が元校長、義理の母が保育士と教育一家の一員でもあります。

個人としてnote(<https://note.com/u17da/>)にて教育×ICTに関する情報発信も行っています。

「[教育ダッシュボードのつくりかた](#)」
良かったらご笑覧くださいー





※今後提供予定

まなびポケットは
シェア **No.1** ^{※1}
学習eポータル
9,400 **校以上導入** ^{※2}

※1: 株式会社MM総研『2023年春調査 小中GIGAスクールにおけるICT整備動向調査 教育委員会編』(2023年4月～5月)

※2: 2024年4月現在

- ✓ 無償で始められるダッシュボード機能を2023年12月にリリース
- ✓ 児童生徒（保護者）向けのデータ活用の機能「AARポータル」を2024年度末にリリース予定

学校現場が**ワンチーム**となり、 **誰でも**より深く児童生徒を見取り行動し **続けられる**ダッシュボード

コンセプトを実現する**3つ**のポイント

01

今まで互いに **見えていなかった情報が共有・蓄積される** から、
同じ目線に立ち、**ワンチーム**となって考え、動くことができる。



02

システムがデータを読み解いてヒントをくれる から、
経験やICTリテラシー関係なく**誰でも**より深く生徒を見取り、次の一手を打てる。



03

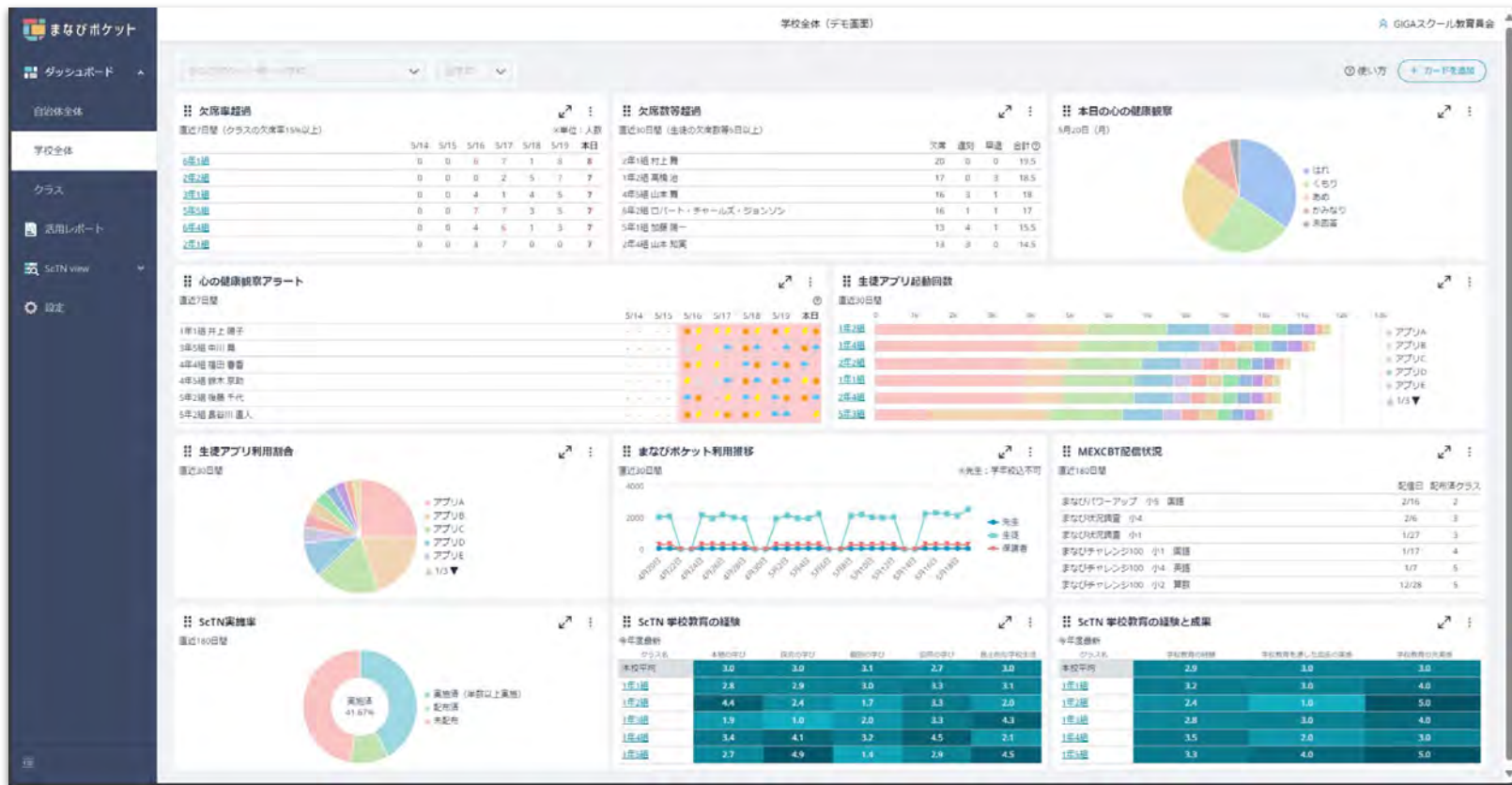
自分の頑張りの効果が分かる から、
「やらされ」ではなく自らアクションと検証のサイクルを回し**続けられる**。



徹底的に現場に入らせてもらってディスカッション



提供中のダッシュボード機能（学校画面/状態把握）



今後提供していく機能概要



状態把握画面

日々の学校/学級/生徒
の
状態や変化を可視化

生徒ピックアップ

生徒カルテ

効果を実感し
行動し
続けられる

探索画面

深掘りする、
背景を知る画面

目的別分析

自由分析



読み解き

誰でも気づきを得られるよう、
複合的なデータからユーザーにアテンション



教育委員会、管理職、教員
皆が共通のデータを見られるから
ワンチームになれる

まなびポケット側でデータを読み解き、示唆を提示
忙しいなかでも小さな変化を捉え、背景や要因の探索することが可能に



気にかけたい子がパッと見て分かる

朝の時間のない時など、とにかくここに表示されている子をまずは気にかけるヒントとして分かり易く表示

毎日違うテーマで頑張っている生徒もピックアップ表示される

課題のある子に対して対応して解決するだけでなく、頑張ってる子の良いところを伸ばすことで特定の子だけを注視するのではなく一人残さず深く見取ることができる

▲ デフォルトでは閉じた状態で表示、生徒が見ても安心

気にかけるべき児童生徒、小さな変化があった子を根拠とともに表示
時間のない先生でも見つけられる、情報が共有されてチームで見えていくことが可能に

<

目的別分析

不登校予兆のある生徒の要因を探る

学習面に課題のある生徒への対応を探る

自由分析

目的から始める

データの大きさを
比較する



傾向を見る



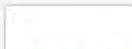
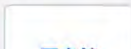
2つのデータの
関係性を見る



3つのデータの
関係性を見る



データを読み込む



テーマを選択し、分析したい対象校や期間等を指定



ドットやその近くをマウスオーバー or クリックすると、
そのグループや個人に関するヒントが表示される

先生方の関心の高いテーマがあらかじめ数種類用意
簡単なデータの指定のみでテーマに沿った分析結果と示唆を提供

自由分析

目的から始める

データの大きさを
比較する



傾向を見る



2つのデータの
関係性を見る



3つのデータの
関係性を見る



地域的な
傾向を見る



目的に合わせて表示形式を選択

分析したい目的に応じて
適切な表示形式が選択ができる

データを読み込む

ユーザー
データ

図書館
利用者数

+ 新規追加

生活系
データ

出欠数

保健室
利用数

生徒指導

所見

WEBQU

ScTN

学習系
データ

全国学力
調査

単元テスト

Qubena

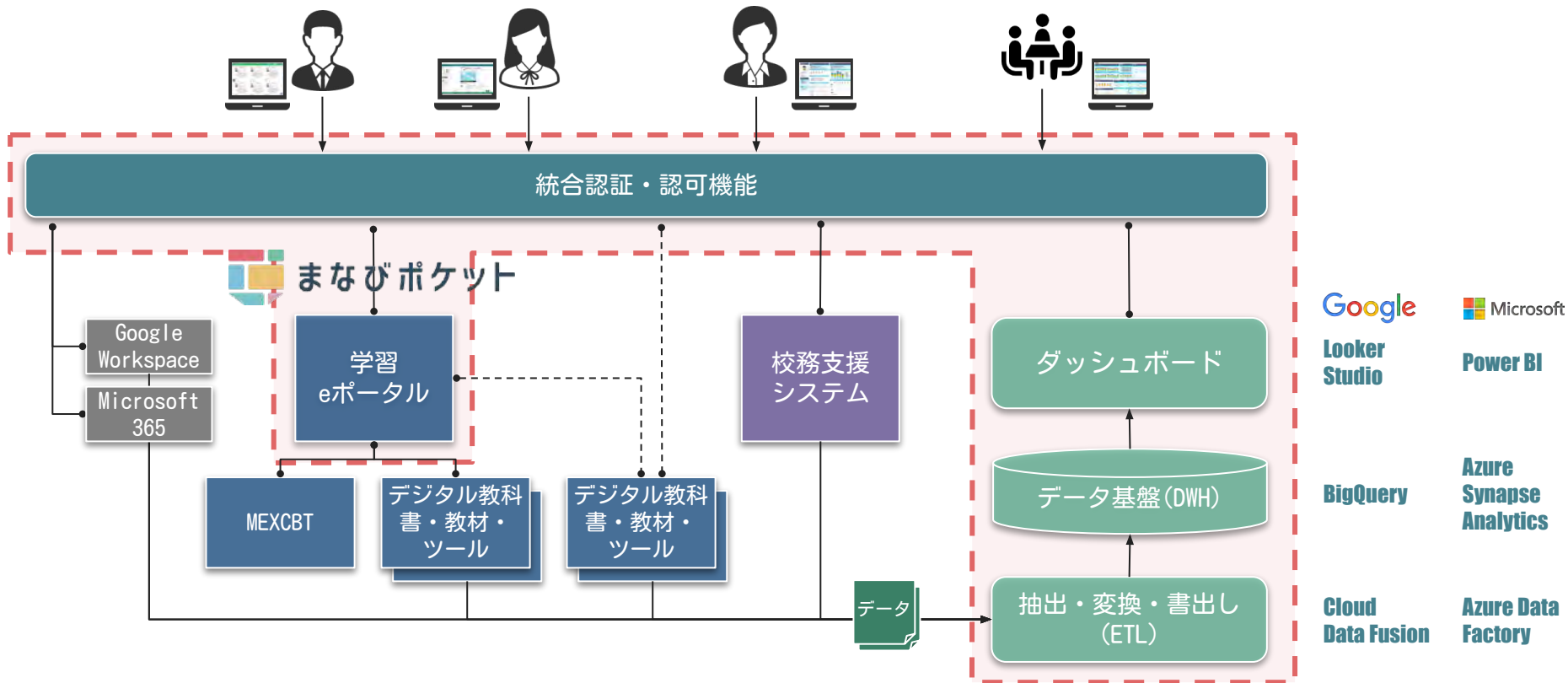
スクール
タクト

連携されているデータは すぐに分析に活用可能

データのクレンジングや取り込みの作業は不要で、簡
単に豊富なデータを使った分析を開始できる

グラフとデータソースをパターン化することで、
分析が得意でない方でも自分なりに知りたいことを探索可能に

まなびポケットのダッシュボードが提供する範囲



複雑なシステム構成の構築が不要で、サービスを利用するだけ

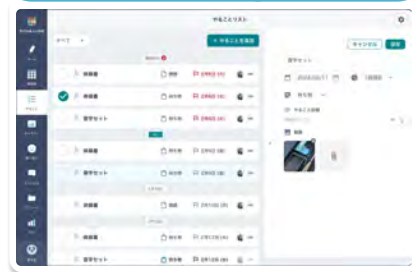
学習者主体のデータ活用「AARポータル」

AARポータル

Reflection 振り返り



Anticipation 見通し



GIGA端末での写真の連携から開始

ダッシュボードとも連携



Action 学び



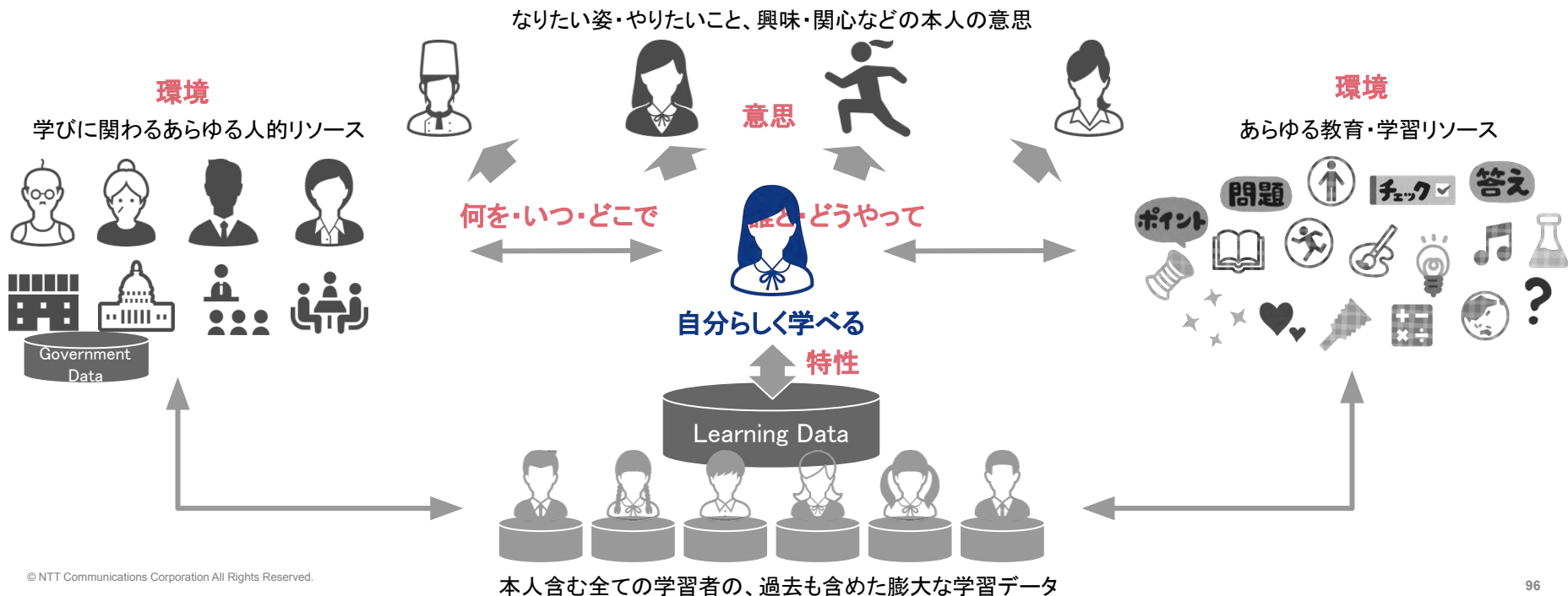
保護者への定期レポート



目指すビジョン「誰もが自分らしく学べる社会」

学習者の意思^(Why)に寄り添い、データから導く特性^(Who)を活用し、自分らしく学ぶことができる環境

「何を^(What)・いつ^(When)・どこで^(Where)・誰と^(with Whom)・どうやって^(How)」を選択できる社会



ディスカッションテーマ

ダッシュボード環境構築にあたり大変だったことは？

ディスカッションテーマ

ダッシュボード構築の当初の目的に対する実際の効果は？

ディスカッションテーマ

今年度はどのような新しい取り組みを行っていくか？

ディスカッションテーマ

**今後新たな取り組みを行うにあたり、
省庁・校務支援／学習支援ツール・業界団体などへ期待することは？**

質疑

**現場の先生方の時間的な制約がある中、
どこまでダッシュボードを活用できるかが大変気になるところです。
このあたりの配慮事項や支援体制などあればお聞きしたいです。**

質疑

ダッシュボード構築はどこから始めたら良いでしょうか。

ディスカッションテーマ

ダッシュボード構築を検討中の皆さんへメッセージ